

AI×教育：未来の授業デザインを創出するワークショップ

金西 計英（徳島大学 高等教育研究センター 教授）

田巻 公貴（徳島大学 高等教育研究センター 助教）

講師略歴

【金西 計英】徳島大学教育学部卒業。鳴門教育大学大学院学校教育研究科修了。2000年、博士（工学）を徳島大学より取得。関西学院大学、金沢工業大学、四国大学を経て、1999年より徳島大学へ。2009年より徳島大学大学開放実践センター教授（現在は高等教育研究センター教授）。教育工学を専門とし、高等教育のe-Learningについての研究に取り組む。また、高等教育におけるアクティブラーニングの実践の研究にも取り組む。

【田巻 公貴】東京理科大学理学部卒業。東京理科大学大学院理学研究科科学教育専攻在学中。修士課程在学時に高等学校非常勤講師の経験を経て、2024年より徳島大学高等教育研究センター助教。教育工学、インストラクショナルデザインを専門とし、授業をより効果的、効率的、魅力的にするための研究に取り組む。また、生成 AI を活用した実践研究にも取り組む。

プログラム概要

本ワークショップでは、生成 AI を活用して授業シラバスを設計・改善する手法を実践的に学びます。参加者はまず授業設計の基本を踏まえ、自身の専門や関心に応じたシラバスの構想を立てます。その後、生成 AI を用いて具体的な案を作成・修正し、グループ内で共有します。後半ではピアレビューとディスカッションを通して、AI が生成した内容の妥当性や創造性を検討し、より洗練された授業デザインへと発展させます。また、生成 AI を教育に活用する際の可能性と限界、倫理的な配慮や出力の信頼性などについても批判的に考察し、実践に活かせる視点の獲得を目指します。教育における AI 活用の第一歩として、多くの教育関係者の参加を期待しています。

準備物・事前課題

パソコン

ご自身が担当している授業のシラバス

主な受講対象者

・大学・短期大学・専門学校の教員（分野不問）

・カリキュラム設計や ICT 活用に関心のある教育関係者

※ICT 初心者でも参加可能です。生成 AI の使用経験がなくても問題ありません。

到達目標

1. 生成 AI を利用してシラバスを設計、改善することができる。
2. 他者と協働して、生成 AI が出力したシラバス案の妥当性・創造性・実用性を分析し、具体的な改善提案を行うことができる。
3. 生成 AI を教育に活用する際の可能性や限界、倫理的な留意点を説明し、生成 AI の出力を批判的に検討して適切に活用することができる。